

50 卷 記 念 号 に 寄 せ て

横 山 晶

当院は平成23年1月に県立がんセンター新潟病院として創立50周年を迎えました。50周年記念行事が、記念講演に諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生をお迎えしANAクラウンプラザホテル新潟で盛会裏に執り行われたのは記憶に新しいところです。

同時に本誌も50巻記念号を発刊することができることは何よりの喜びです。まず50年間通算108号を途切れることなく発刊し続けた歴代の編集委員の並々ならぬ努力に心から敬意を表します。とくに長年事務局で奮闘されている有田女史のご苦労には心から感謝申し上げます。

本誌は学術誌であり、掲載論文はメディカルオンラインで全国どこからでもダウンロードが可能です。あらためて創刊号からの総目次をみると、原著論文はあまり多くありませんが、総説、特集、資料・統計が充実しております。そこからは、その時々のがん医療のトピックスがみえてくるとともに、現在のがんに特化したがんセンターを築きあげてきた先輩たちの熱意が伝わってきます。本誌は当院の成長の記録であり、ここに記録された業績は大変貴重な資料と考えます。

もう一つのがんセンターの業績に集談会があります。これは当院が「創立20周年記念シンポジウム」を開催し好評であったことから、その後、毎年2月に開催しているもので、昨年で第28回を数えました。集談会での発表は職種を超えたチーム医療の成果であり、チーム医療の推進に欠かせないものとなっています。その抄録集がすべて本誌に掲載されています。また一部は特集として再企画されており、これも大変貴重な記録となっています。

がん医療は時代とともに変遷しており、ポストゲノム時代と言われて久しく、個別化医療も可能になってきました。臨床腫瘍医およびがん専門コメディカルの育成などインフラ整備も進行中であり、DPCの導入等により通院治療の比重が高くなっています。

今、必要なのがんに関する正確な情報の発信であり、本誌は当院からの学術的な情報発信ツールとして最適と考えます。ひとりでも多くのひとに本誌が読まれ、つぎの記念号に引き継がれていくことを期待します。